授業科目等の概要

	#REF!										授業方法			場所		教員		企業等との連携
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
	必修	選択必修	自由選択														
1	○			自然科学概論	生物・化学・数学(統計)について学ぶ。	1 ①	32	2	○			○			○	
2	○			医療人間科学Ⅰ	自分の言葉で考察を加えた実習記録の書き方、歯科用語を使用した術式記録の記載、ならびに読解力の習得に留意を置く。	1 ①	32	2	○			○		○		
3	○			健康社会学	健康や病気と社会とのかかわりについて基礎的理解を深めるのと同時に、医療者として市民が健康や病気への積極的に対峙する力を育むのにどのように支援するのかについて理解する。	1 ②	32	2	○			○			○	
4	○			医療人間科学Ⅱ	実践的な歯科診療の場面に沿った英会話並びに専門的英単語を習得する。	2 ①	16	1	○			○			○	
5	○			医療人間科学Ⅲ	実践的な歯科診療の場面に沿った英会話並びに専門的英単語を習得する。	2 ①	16	1	○			○			○	
6	○			医療人間科学Ⅳ	歯科医療人としての幅広い教養と豊かな人間性を身につけるために必要な知識・態度・技能を習得する。	3 ②	32	2	○			○			○	
7	○			解剖学(組織発生学を含む)	専門知識の基盤となる、人体の構造と機能に関する知識を身につける。	1 ①	32	2	○			○			○	
8	○			生理学	人の基本的構造や機能を理解し、臨床に必要な生理学の知識を習得する。	1 ①	32	2	○			○			○	
9	○			口腔解剖学(口腔組織発生学を含む)	歯科衛生士にとって必要な口腔解剖学・口腔組織発生学の知識を習得する。	1 ①	32	2	○			○			○	
10	○			歯牙解剖学	歯牙の特徴を観察することにより習得する。	1 ①	16	1	○			○			○	
11	○			口腔生理学	顎顔面口腔領域の感覚機能や、経口摂取、発声、嘔吐などの生理的メカニズムを学習する。	1 ①	32	2	○			○			○	
12	○			病理学	病気の原因・発症機序・進展および転帰を理解し、疾病の予防や治療の基礎となる知識を総合的に習得する。	1 ②	16	1	○			○			○	
13	○			口腔病理学	口腔疾患の原因・発症機序・進展および転帰を理解し、疾病の予防や治療の基礎となる知識を総合的に習得する。	1 ②	32	2	○			○			○	
14	○			微生物学(口腔微生物学)	微生物（口腔微生物）とそれらが原因となる疾患を理解するために、微生物の基本的性状、病原性と感染によって生じる病態、生体の防御機構としての免疫、に関する基本的知識を修得する	1 ②	32	2	○			○			○	
15	○			生化学(栄養学)	生体を構成する様々な物質の特徴や代謝過程を学び、その知識に基づいて口腔生化学の知識を習得する。栄養素の働きや意義を学び、食生活と健康との関わりを理解する。	1 ②	32	2	○			○			○	
16	○			薬理学(歯科薬理学)	薬理学の基本的な知識を身につけると共に、歯科臨床で用いられる薬物の特徴や副作用について必要な事項について学ぶ。	2 ①	32	2	○			○			○	
17	○			衛生学・公衆衛生学	地域保健・公衆衛生の基礎的な知識を習得する。 各ライフステージにおける法律や制度について知る。	1 ②	32	2	○			○			○	
18	○			口腔衛生学	口腔清掃指導に必要な知識と歯科疾患予防を学習する。	1 ①	32	2	○			○		○		
19	○			衛生統計学	歯科衛生士として得た情報を口腔内の疾病予防、健康増進に活用する方法を学ぶ。	2 ②	32	2	○			○			○	

20	○			歯科介護学	接食・嚥下機能に関するスクリーニング・対応・リハビリテーションについて学習する。	3 ②	16	1	○			○			○	
21	○			歯科衛生士概論Ⅰ	歯科臨床で担当する法的に定められた業務について学習資料を通した講義や演習で総合的に学ぶ。	1 ①	16	1	○			○			○	
22	○			歯科衛生士概論Ⅱ	歯科衛生士の役割を自覚し、歯科臨床で担当する業務を、学習資料や映像資料を通した講義や演習で総合的に学ぶ。	3 ②	16	1	○			○			○	
23	○			保存修復学	歯牙硬組織の疾患及びその治療方法の実践に即した知識を習得する	1 ③	16	1	○			○			○	
24	○			歯内療法学	う蝕、外傷などに続発して起こる歯髄疾患および根尖歯周組織の疾患に対する予防、治療（歯内療法）の概要、とその際の歯科衛生士の役割を学び理解する	1 ③	16	1	○			○			○	
25	○			歯周病学	歯周病治療について学習する。	1 ②	32	2	○			○			○	
26	○			歯科補綴学	歯科補綴の概要、補綴治療の実際、補綴治療における歯科衛生士の役割を理解する。	1 ③	16	1	○			○			○	
27	○			口腔外科学・歯科麻酔学	口腔外科疾患の種類・特徴等の分類を学び、各種麻酔法・救急蘇生法を含め、歯科領域における全身管理や偶発症等への対応を理解する。	2 ①	32	2	○			○			○	
28	○			先端歯科医療学	新しく導入された臨床方法や器具・器材・薬剤を学び、より専門的で高度な知識を習得する。	3 ②	32	2	○			○			○	
29	○			小児歯科学	小児歯科学の概要を理解し、歯科衛生士として小児歯科臨床に必要な知識・技術・態度を修得する	1 ③	16	1	○			○			○	
30	○			歯科矯正学	歯科矯正の基本を理解して臨床に対応できる知識を習得する。	1 ③	16	1	○			○			○	
31	○			障がい者歯科学	障害者の特徴、周辺環境、関わり方などについて包括的に理解し、その知識に基づいて、実際の臨床の場で歯科衛生士が果たすべき役割を学んでいく。	2 ③	16	1	○			○			○	
32	○			高齢者歯科学	対象となる方々の特徴、周辺環境、関わり方などについて包括的に理解する。	2 ①	32	2	○			○			○	
33	○			歯科放射線学	臨床実習中に毎日取り扱いをする口内法撮影法の正しい位置付け、パノラマエックス線撮影法の正しい位置付けの習得に留意を置く。	2 ①	16	1	○			○		○		
34	○			歯科予防処置Ⅰ	専門基礎分野の知識と関連づけながら口腔の構造、う蝕、歯周病の概要を知り、歯科予防処置について学ぶ。	1 ①	16	1	○			○		○		
35	○			歯科予防処置Ⅱ	専門基礎分野の知識も踏まえ、予防処置の方法、応用を考えることができるようになる。歯科衛生士に不可欠な器具のメインテナンスについての知識を習得する。	1 ③	16	1	○			○		○		
36	○			歯科予防処置Ⅲ	臨床に直結する歯科予防処置の知識を学び、習得する。	2 ①	16	1	○			○		○		
37	○			歯科予防処置実習Ⅰ	歯科予防処置で使用する器具・機械を衛生的で安全、かつ適切に使用できるよう、マネキン実習・相互実習を通して習得する。	1 ② ③	64	2			○	○		○		
38	○			歯科予防処置実習Ⅱ	歯科予防処置で使用する器具・機械を衛生的で安全、かつ適切に使用できるよう、マネキン実習・相互実習を通して習得する。	2 ①	64	2			○	○		○		○
39	○			歯科予防処置実習Ⅲ	口腔疾患を予防し、歯・口腔の健康状態を維持・増進するための専門的な基礎知識、技術及び態度を修得する。	3 ①	32	1			○	○		○		

40	○			歯科保健指導Ⅰ	歯科保健指導とは何かを理解し、歯・口腔の健康の維持、増進するために必要な基礎知識を身につける。	1 ①	16	1	○			○		○		
41	○			歯科保健指導Ⅱ	ライフステージごとの口腔内を理解し、それに相応しい歯科保健指導を実施するための知識を身につける。	1 ②	16	1	○			○		○		
42	○			歯科保健指導Ⅲ	様々な対象者の特性を知り、対象者に寄り添った歯科保健指導を行うための知識を身につける。	2 ①	16	1	○			○		○		
43	○			摂食嚥下リハビリテーション学	摂食・咀嚼・嚥下のメカニズムや発達、加齢変化を理解し、「食べる」を回復させる方法を習得する。	3 ①	16	1	○			○			○	
44	○			歯科保健指導実習Ⅰ	歯科保健指導に必要な基本的技術、医療面接をマネキン実習・相互実習を通して習得する。	1 ②	32	1			○	○		○		
45	○			歯科保健指導実習Ⅱ	様々な患者に対する歯科衛生介入を想定し、それぞれに適した歯科保健指導を行う為の実践力を身につける。	2 ②	32	1			○	○		○		
46	○			歯科保健指導実習Ⅲ	人々に対し、歯・口腔の健康の維持・増進を支援するために必要な基本的知識と技術、および態度を習得する。	3 ②	32	1			○	○		○		
47	○			歯科診療補助Ⅰ	歯科医療を安全かつ円滑に行うために必要となる歯科衛生士の役割を理解し、それに関する基礎知識を学習する。	1 ①	16	1	○			○		○		
48	○			歯科診療補助Ⅱ	歯科医療を安全かつ円滑に行うために必要となる歯科衛生士の役割を理解し、それに関する基礎知識を学習する。	1 ②	16	1	○			○		○		
49	○			歯科診療補助Ⅲ	さまざまなライフステージにおける高度歯科医療に対応するために、専門的な歯科診療の補助に関する基礎知識を身につける。	2 ①	32	2	○			○		○		
50	○			歯科診療補助実習Ⅰ	マネキンと模型による実技実習を行う。	1 ①	32	1			○	○		○		
51	○			歯科診療補助実習Ⅱ	さまざまなライフステージにおける高度歯科医療に対応するために、専門的な歯科診療の補助に関する基礎知識、技術および態度を習得する。	2 ①	32	1			○	○		○		
52	○			歯科診療補助実習Ⅲ	専門的な歯科診療補助に関する技術および態度を見につける。	3 ①	32	1			○	○			○	
53	○			臨床検査法	医科・歯科で行われる一般的な臨床検査を教授する。歯科で行われる臨床検査の診療補助法を教授する。	1 ③	16	1	○			○			○	
54	○			保険請求事務	医療保険制度を理解し、窓口業務に必要な知識を習得する。点数算定の基礎知識から、病名ごとに算定する応用とともに、レセプト記載の基礎知識を習得する。	3 ②	16	1	○			○		○		
55	○			臨地実習	一般歯科医院、大学病院、教育現場等での実習を通して歯科衛生士として必要な知識・技術の他、医療人として望ましい態度や広い視野を身につける。	2 ② ③ 3 ①	900	20			○		○	○		
56	○			総合講義	臨床実習に向け必要知識・態度について学ぶ。	1 ③ 2 ①	48	3	○			○		○		
57	○			特別教養科目	ホスピタリティの意味を理解し、日常業務の中での接遇とマナーを学ぶ。	1 ②	16	1	○			○			○	
58		○		総合科目	今まで学習してきた科目を基礎から復習し、応用力をつける。	3 ②	160	10	○			○		○	△	
59		○		総合学習	総合科目で学んできた内容に、様々な知識を関連付け総合的に理解する。	3 ③	160	10	○			○		○	△	
合計					59科目　　科目			119 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
卒業要件： 必修・選択必修の全授業科目を修得	1学年の学期区分	3 期
履修方法： 授業時数の3分の2以上の出席とする	1学期の授業期間	11 週

（留意事項）

1　一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。

２　企業等との連携については、実施要項の３（３）の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。